



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Sept. 1984 III-3

THEME (1984~'85)

- I. P. 「今こそ行動のとき」
- R. D. 「限りなき熱情を奉仕に」
- D. G. 「奉仕と誠をもって前進しよう」
- P. 「創ろう新しい伝統を」

Brothers, stop thinking like children.
 In regard to evil be infants, but in
 your thinking be adults.

In the Law it is written:

兄弟たち、物の判断については子供となってはいけません。悪事については幼な子となり、物の判断については大人(おとな)となってください。
 (コリントの信徒への手紙1 第14章20~21節)

◆「部会の日」強調月間(日本区)

第34回 中西部会は23日(祝) 10時~15時
 奈良アロースクエア(近鉄あやめ池下車)にて開催されます。

◆9月・チャーター2周年記念例会プログラム◆

とき 9月19日(木) 18:30~20:30
 ところ 大阪YMCA会館 9階集会室

司会 瀬戸孝太郎 君

1. 開 会 中村 会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖句朗読 川越 利信 君
4. ゲスト紹介 中村 会長
5. 食前感謝「日々の糧」 晩さん 一 同
6. 役員会報告 中村 会長
7. ゲスト・スピーチ「草の根 - 海外協力のすすめ」
 YMCA国際・社会奉仕センター 齊藤 千宏 氏
8. チャーター2周年記念行事 各表彰 中村 会長
9. アメリカ帰国報告 鈴木 謙介 君
10. 誕生日のお祝い 中村 会長
11. ニコニコアワー
12. 委員長報告・YMCAニュース
13. 閉 会 中村 会長

▼ 例会当番(川越, 正司, 瀬戸, 藤木, 堀, 森)

◆誕生日おめでとう

浦野 和子 さん 9月3日
 藤井 保男 君 1946年9月12日

8月例会 出席者 (在籍会員 34名)

	第1例会	第2例会	Make up	累 計
メ ン	20名	8名	2名	22名
出席率	58.82%			64.71%
メ ネット	6名			
コ ネット	1名			
ゲ ス ト	4名			
ヴィジター	4名			
合 計	35名	8名		

○ゲ ス ト 福永嘉彦君(山田君), 和田 昇君(正司姉), 大槻房子姉(森君), 多田幸子姉(森君)

○ヴィジター 遊上義一, 津江子夫妻(大阪クラブ)
 三木 求君, 栗山厚子姉(和歌山クラブ)

○メ ネット 黒田, 谷川, 長安, 森, 山田, 山中, 各メネット

○コ ネット 長安彩子さん

◆7月例会出席率の修正

横山 豊君, 7月12日 台北中央クラブに出席。
 従って、7月度出席者数を25名に、出席率を75.53%に修正します。

▽ 8月例会の主な記事



- 恒例により8月例会を納涼大会にして早や3回目を迎え、
「ローゼンタール肥後橋。も我がセンチニアルクラブの
会場のごとく、和気あいあいと楽しい夏の夜のひととき
を過ごした。



- 遠くは和歌山クラブより、三木求君、栗山厚子姉、近く
は大阪クラブより、遊上ご夫妻が参加されビヤパーティー
が一段と盛り上った。
- なかでも圧巻は、エンターテイメントとして正司奏子姉
が伴奏のないのを「蝶の舞。で「ラストダンス」、「愛
の讃歌」、「すみれの花」をローゼンタール全館に浸透
する美声で唱われ、従業員の方々もしばし仕事を忘れて
聞き惚れるヒトコマでした。特にオマケの「幸せを売る
男」は、二度と聞けないような「素晴らしい、の一語で、
情感あふれる内容でした。



- 谷川君より「ICM及び国際大会」の模様を紹介され、
大阪クラブ遊上君の補足説明等も含めて大会の概要をつ
かむことができた。
- 中村会長より「十勝じゃがいも」のシーズン到来に際し
十勝クラブからの「じゃがいも便り」の紹介があり、当
クラブでも購入の検討をしてみてもとの話があった。
- ファンド委員会より「理想的な新洗剤」の紹介があり、
少量ながら参加者全員が持ち帰る盛況ぶりであった。

今月の聖句について

黒田 徹之

この聖句はキリストの弟子パウロが、ギリシャのコ
リントにいる信徒たちに書き送った手紙の一部です。
キリストの教えは、私たちに、いつも幼な子のような
純粋な気持でいるようにと訓されています。特に悪い
誘惑に対しては、幼な子のように清らかな態度で対処
するよう教えられています。しかし、事に当たっての判
断は、おとなの成熟した考えで臨むべきことを強調し
ています。

成熟(Maturity)という言葉の深い意味を考えま
しょう。聖書の別の箇所にも、「……あらゆる点にお
いて成長し、かしらなるキリストに達するのである」と
書いてあります。幼な子は他人の気持ちを察すること
をせず自己主張のみ強いのが特徴です。ですから空腹
になれば、夜中でも泣き、相手の迷惑など構ってはお
りません。これを考えるとき、成熟した大人の心とは
まず、相手の気持ちを察する心でしょう。自分のこと
ばかりでなく、相手の立場に立って物事を考えるゆと
り、思いやりの心が必要でしょう。あるいは相手の心
を見抜く鋭い洞察力をも意味していると思います。ま
た成熟した人は美しいものを見て美しいと感ずる豊か
な感性をも指すでしょう。その他にも多くのことが大
人の判断力について考えられます。一度この「おとな
となる」この意味について、みんなで語りあいたいも
のです。

▽ 第2例会の記録

- 「新年合同例会準備委員会」を設置します。
来年1月12日(土)をめざし、さっそく「特別委員会」
を設置することになりました。委員長は山田君、副委員
長は正司姉と決定し、プログラム委員会、フィフティ
ーンのヤングの力を中心にメンバーを構成することにな
りました。
- 10月第1例会に、ドア・プライズ(福引き)を実施す
ることになりましたので、献品のご協力をよろしくお願
い致します。なお、9月第1例会より受け付けを開始しま
す。
- 9月例会プログラムの決定
チャーター2周年記念行事として、この1年間の活動を
ふりかえり、特に活躍の顕著な人を表彰することになり
ました。

▽ 連絡事項

「1984～85年度日本区名簿」の差し替えについて
既に配布している今年度の名簿の内容に、一部住所等に
誤りがあることが判明したため、当月差し替えることにな
りました。今回の改訂版は、裏表紙に「1984年7月発
行」と表示するとともに前、後半にある色紙のブルーを他
の色に替えます。

“NEMAWASHING”について



— ワイズ国際議会での実験から —

谷川 寛

このタイトルの英語を御存知ですか？ そうです。よくお読みになると、おわりの通り、^①“根回し”のこと。政治の世界、ビジネスの世界はもとより、日常のあらゆる分野で、日本の社会は物ごとをまとめるには、事前に^②“根回し”が必要と云われている。従って、外国でもこの言葉は有名となり、日本との交渉にもしばしば使われる。

“NEMAWASHING”とはPRIOR STAGING AND IRONING OUT THE DIFFERENCE IN ADVANCEとあります。

では、国際の舞台ではどうか。ハーバード式のケーススタディではないが、以下は私の国際議会での経験から……。



7月のワイズ国際大会の前の5日間。大会と同じTHE AMWAY GRAND PLAZA HOTELで、国際議会（ICM）が開られた。私に与えられた課題の一つは、タイム・オブ・ファースト事業の委員長として、現在のTOF事業のLDP-II（世界の途上国のYMCAリーダーを養成するプログラム）の次に何を採上げるか、今回の国際議会で決定することにある。すでに、TOF委員会は、“UNDERPRIVILEGED CHILDREN”（世界のめぐまれない子供達）を次のプロジェクトとして推すことに、全員一致している。

このため私は6月にジュネーブを訪問し、世界同盟の人々と、次の候補地（ガーナ、バングラディシュ、パナマ等）の打合を済ませて来ている。

問題は世界各国から集っている21名の海千山千の国際議員（ICM）の連中を、どう説得して、採択させるかにある。すでに日本出発前に、アフリカの代表は私に手紙を送って来て、次期のTOF事業には、是非“アフリカの難民問題”を採上げるように迫って来ている。

ラテンアメリカ・カリビアン地域代表は、バラグアイを中心とした南米インデアン問題を、次のTOF事業に採上げられることを、私に再三要求して来ている。

そこで、今回のTOF事業のセッションに入る当日の午前中、国連のロビー外交とまではゆかぬが、コピーレイクを利用して、せめてものロビー外交に及んだ次第。はたして、日本流の“根回しロビー外交”（NEMAWASHING-LOBBYING）は通用するかどうか……。

まずは、アフリカの代表にアプローチ。「あなたのアピールしているアフリカ難民問題の重要性は充分分る。ただ、一般に分りにくいLDP事業が過去に続いたあとであり、

こちらで今度は世界の何処か一ヶ所に片寄らないプロジェクトとして“世界のめぐまれない子供達”を採上げたい。これならみんなにわかり易く、フィードバックもし易い。これに賛成してくれれば、アフリカを一ヶ所、例ばガーナを候補地に必ず入れるから、と説得に努める。

御本人はアフリカを候補地の一つに入れることには納得した。しかし、アフリカYMCA同盟が、国際ワイズに“アフリカ難民問題”も採上げるよう決議している以上、自分としてはやはり“アフリカ問題”を推す、として譲らない。

ラテンアメリカ・カリビアン代表には、同じく次のプロジェクトのストーリーを説明し、説得に努める。このプロジェクトをサポートしてくれれば、あなたの地域のパナマを、その候補地に入れるから、と提案。彼はこれに対して、あっさり承諾して来た。駆け引き成立。

気をよくして、彼にこのプロジェクトを支持する旨の応援演説も依頼した。これも引受けてくれた。

次はヨーロッパ代表の二人。彼らには以前から次の事業の可能性を事前に話しあったから、“世界のめぐまれない子供達”の案には問題なく賛成してくれた。

次のインドは、以前に自分達独自の案を、次のTOF事業として出すと云っていたが、目下提案なし。そこで、インドエリアのAPと話し合った。その結果、彼の推す別件に私が賛成の意を示したことから、引替えに私の出す次期のTOF事業には、彼は同意する旨、内諾をえた。根回し成功。彼にも、この事業の賛成演説を組んでおいた。

カナダ代表は、今回私の出す“めぐまれない子供達”の動議にセカンドしてくれている。彼はこの事業ならカナダ政府の出すCIDAの補助も期待出来ると云っている。

豪州NZ代表も同調間違いなし。今のところ根回しロビー外交成功。

残るはアジアとアメリカ。アジアの台湾、韓国、日本の票は、まず間違いないと見て、最後に依頼するはずであったが、結果時に時間切れとなった。

アメリカ代表の二人のICMには、次のプロジェクトのストーリーを説明し、支持を頼んだところ、「おまえに事前に相談されては、イエスと云わざるをえない。もともと、現在のLDP事業は将来への先行投資の性格があり、良いプロジェクトだが、判りにくい。今度はずっと分り易いものを作ってほしいと思っていた。その意味から“めぐまれない子供達”の事業には賛成するから、しっかりやれ」と励ましてくれた。大いに元気づけられて、もう一人のアメリカ代表を捜した。彼は会議中、なんでも一回は反対しないと気がすまない質。彼は小さな子供をつれて来ており、会議中子供をあやしなながら、何時も一言多い。

なんとか彼を説き伏せたいところだが、とうとうコピー

ブレイク中に現れず、時間切れとなってしまった。

この子連れ狼氏には悔を残した。

午後のセッション開始。司会をする竹内国際会長には私が出す動議についての質問時間は、出来るだけ短く切り上げてくれるよう事前に根まわしをしておいた。

さて、私が演壇に立ち、次の1985/86には、この“めぐまれない子供達、の事業をTOF事業として是非採り上げたい。”と発言し、その背景を説明。また、これを実行してくれる世界Y同盟も、この事業には自信を持っている旨、力説した。そのあと質問に入った。

アフリカの代表は、例によって“アフリカの難民問題、を次のTOF事業に採り上げるべきである旨、演説した。しかし、私がすでに他のICMに根回しをやっていることを知っているせいか、今回の彼には勢いが無い。あまり脈なし、とみたのか？

一方、例のアメリカのもう一人、子連れ狼氏は午後のセッションに遅れて登場。案の定、一言発言して曰く。「今のLDP事業は非常に良い事業であり、将来のYMCAのリーダー養成のため、来年もこの事業を続けるべきである。」と反論して来た。

この発言に対して、ラテンアメリカ代表と、インドの代表が立って、次のTOF事業には、“世界のめぐまれない子供達、を支持する旨の賛成演説をしてくれた。堂に入ったものだった。演壇に立った私には、この質問の時間がやけに長く感じられた。やっと、司会の竹内IPが質問を打ち切る旨、発言。私の出した動議の票決に入った。

賛成者は「AYE」と云えの司会者の発言に、大多数が賛成してくれ、次のTOF事業は、“世界のめぐまれない子供達、に決った。まさに反対演説をふった子連れ狼氏も、「AYE」の方に手を上げていた。かくして、日本流の根回し“NEMAWASHING”は国際の舞台でも、有効のようだ。動議通過を祝って、ヨーロッパとカナダの代表の二人が、私に握手を求めて来た。



1984年 国際議会にて、次のタイム・オブ・ファストのプロジェクトを発表する谷川 寛 ICM



スティーブ・ウオンの世界 — ヌアヌ・クラブとの再会 —

谷 川 寛

7月の国際大会にて、ハワイ区代表の中に、ヌアヌ・クラブのスティーブ・ウオンさんを見付けました。彼はヌアヌ・クラブ元会長にて次のハワイ・リジョンのRDでもあり大変落着いたキャリアー・ワイズメン。大会最終日の朝、二人でゆっくり朝食をともにする機会がありました。鈴木夫妻は団体ツアーの朝食のため参加出来ず残念。

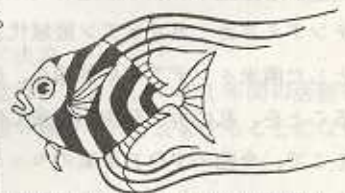
彼は、前回のハワイ区大会に、大阪センテニアルからビッグ・デレゲーションを送ってくれたこと大変感謝しており、ヌアヌクラブもセンテニアルのようなブラザーをもったことも大変ほこりに思っていること、来年は米国地域大会がハワイ島コナであるので、是非もっと多数の代表を

送ってほしい、全員のホストを引受ける、と云っていました。前回のセンテニアルの一行のハワイでの評判は、きわめてよく、なかでもプリマドンナの正司泰子ワイズの人気は抜群で、ハワイ全島に知られているようです。

来年は何人来るのか、知らせてくれと、朝食の終りに云っていました。朝食は彼のアカウントとなり、マカデミア・ナッツをセンテニアルのため、言付かって来ました。

大会中、ハワイの代表は来年のハワイ大会を大いにPRしていました。パパイヤ、パイナップルが好評でした。

来年はハワイ州コナに出掛けようではありませんか!! 国際議会もハワイであります。



来年のアメリカ大会は、左記のように7月14日~17日の間、ハワイ島のコナ・サーフホテルです。今から計画して参加しませんか!!



INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
5th Biennial U.S. Area Convention
July 14 - 17, 1985
Kona Surf
Keauhou Bay, Kona, Hawaii

▽ ハワイ・ブラザーからの報告



近着のNUUANU Y's UP 8月号は、ヌアヌクラブよりただ一人参加したスティーブ・ウオンRDEの国際大会報告を載せています。長い報告ですので、谷川君と朝食をとともにしたと報告している部分のみ掲載します。

The last day of the International Convention began for me hosting a breakfast for our Brother Club, OSAKA CENTENNIAL'S representatives. Because of a previous commitment, KENSUKE SUZUKI could not join us, but KAN TANIKAWA and I were able to lay the groundwork for a Brother Club visitation during our upcoming U.S. Area Convention. We were also joined by MR. & MRS. HENRY WENG, DG for Singapore, Malaysia, Indonesia, Thailand District.

By STEVE WONG

◎ YMCA ニュース ◎

▼9月例会ではブルティン記載の通り斉藤千宏さんの卓話を聞きますが、同じ題名の書物(定価1,400円)がYMCA同盟から出版されていますので、是非ご一読下さい。

▼国際理解公開講座(於奉仕センター)

9月21日(金)最近関心の深まっているアフリカ難民について毎日新聞の森戸幸生記者による講演会があります。

私たちの理解を深めるのに良い機会です。どうぞご来場下さい。

▼西阪修「聖画と巴里風物展」(於奉仕センター)

生涯の関心である聖書をテーマにした作品とヨーロッパ旅行の近作展(9月26日～10月3日)が開かれます。初日は当クラブの第2例会日ですから是非ご覧下さい。購入も出来ます。

▼9月午餐会(於YMCA会館)

「自然との共存」をテーマにして午餐会が9月20日(木)に開かれます。希望者には詳細をお送りしますのでお申出下さい。

▽ 会員消息

- 9月7日(金)長野クラブの第1例会に、ゲストスピーカーとして当クラブの杉本恭之助君が出席されました。
- 「日本区定款改定特別委員会」は当クラブより杉本委員長、谷川委員が参画し、現在鋭意推進中ですが、9月度は15日、16日の2日間、土佐堀クラブの坂本邸にて開催されます。

汚れがよく落ちて、手も荒れない洗剤を使って
クラブの活動資金作りに役立てましょう。

Q「センテナルのワイズ活動を活発にするために資金が要することは解りますが、なぜ洗剤を扱うのですか？」

A「洗剤はどの家庭でも毎日の必需品。ワイズの洗剤を使って頂くだけで、皆さんが余分の負担を負わずにワイズ活動の資金作りに貢献できると考えたからです。」

Q「これまで使い慣れた銘柄もありますし、有名品でもない洗剤を取り上げたのはなぜですか？」

A「何よりも当クラブのメネット数名で試しに使って見たところ、主婦の実感として確かによいもの。との結論を得たのでこれに決めました。」

Q「どこがどのようによいのでしょうか？」

A「専門的な理屈は別にして、使って便利な点をあげましょう。① 少量(洗濯機一杯に10グラム)できれいに洗えます。② アワがほとんど出ないのですすぎ洗いがごく簡単。普通の汚れなら一晩つけておき、翌朝さっとすすぐだけで洗濯完了。忙しい主婦にとって何よりの利便さです。③ 洗濯後の残り水は廊下のふき掃除やお風呂のタイル洗いに再利用できます。④ 台所用洗剤では、主婦の悩みである肌荒れや湿疹から完全に解放され、すべすべした手になります。⑤ 以上の特長から見て、洗剤、水道、電気、それに時間の節約にもなり大へん経済的な効果もあります。⑥ 「河川湖沼や地下水の汚染」の原因として新聞などで大きく問題になっている「リン酸塩」「LAS(直鎖アルキルベンゼン)」などは全く含んでいないのも大きな特長といえます。」

Q「それなら安心して知人にもすすめられますね。よい洗剤を使って寄附したことになるとは、一石二鳥ですね。」